

V-15-32試験 まとめ(2)

- 全生存期間の結果を解釈するために様々な解析を行った。
- しかしながら、当初予測した以上に多くの後治療が行われたことから、全生存期間の結果の解釈が複雑になっている。したがって、主要評価項目である全生存期間について確固たる結論を導くことは困難である。
- サブグループ解析(患者背景及びバイオマーカー)の結果、ドセタキセルに比べてゲフィチニブの効果が明らかに高いことが予測されるサブグループは特定されなかった。
 - しかしながら、患者数が少ないサブグループもあり、また、試験全体として主要目的を達していないことから、最終的に結論付けることはできない。

39

プラチナ製剤を含むレジメンによる治療歴を有する
局所進行又は転移性非小細胞肺癌患者(NSCLC)
におけるゲフィチニブとドセタキセルの多施設共同
非盲検無作為化並行群間比較第Ⅲ相試験
(INTEREST試験)